

恩返し除雪 野球部員が汗

鵜川高

【岩見沢】2018年の胆振東部地震で受けた支援の恩返しにと、鵜川高野球部員が12日、岩見沢市内で除雪ボランティアを行った。部員たちは除雪が困難な1人暮らしの高齢者宅を回り、雪かきに汗を流した。19年に続き2回目。地震で野球部の寮が半壊した際



ストーブの吸排気口付近を雪かきする鵜川高野球部の部員たち

に寄せられた義援金のお礼として、大雪で困っている人を助けようと1、2年生

計29人が住宅9軒で作業した。部員の中には市内出身者が4人いるという。

部員たちは寒さで固く締まり、腰の高さまで積もった重い雪をスコップなどで取り除いた。玄関先の雪を片付けてもらった市内若松町の菊地玲子さん(82)は「手首と腰を痛めて雪かきが追いつかず、年明けから外出できずにいたので、本当にうれしい」。市内出身の山崎航生主将は「今後も若い力で雪で困っている人を助けられたら」と話していた。

同校野球部員の除雪ボランティアは23、24日にも行われる予定。(梶原康生)